

# 子へ、孫へ 後世へ伝える。

明日のために。

地震と津波の恐ろしさを語り継ぎ、後世に伝えていきたい。

この写真は岩手県釜石市両石町の国道45号線沿いに立つ石碑。

津波の恐ろしさを伝えるもので、中央と右側の2基は明治29年(1896年)、左の1基は昭和8年(1933年)の碑だ。

マグニチュード9.0の巨大地震、その揺れの恐ろしさ。その地震から発生した巨大津波による被害の悲惨さ。

私たちは、この災害を忘れてはならない。

恐ろしい体験を教訓として子や孫に語り継ぎ、後世に残さなければならない。

未来の人々を悲しませないために。

